

1. 会合名	第 27 回 運営審議委員会
2. 日 時	平成 27 年 11 月 27 日 (金) 午後 3 時～午後 4 時
3. 議 案	<ol style="list-style-type: none"> 1. 平成 27 年度上半期における紛争解決業務等の状況及び検証について 2. あっせん手続利用者に対するアンケート調査結果について 3. システムインフラのセキュリティ強化について 4. 今後の財務面における留意事項について 5. その他
4. 主な内容	<ol style="list-style-type: none"> 1. 平成 27 年度上半期における紛争解決業務等の状況及び検証について 平成 27 年度上半期における紛争解決業務等の状況及び検証について、青木専務理事兼センター長から説明が行われ、了承された（資料 1）。 2. あっせん手続利用者に対するアンケート調査結果について あっせん手続利用者に対するアンケート調査結果について青木専務理事兼センター長から説明が行われ、大要以下のとおり意見交換が行われ、了承された（資料 2） <p>【主な意見等】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ あっせん手続利用者に対するアンケート調査について、平成23年から継続しており、5年間の蓄積があることやアンケートの回収率も高いことから、全体の推移を示す等、報告方法を検討してはいかがか。 また、「あっせんの期間が長い」、「あっせん委員が話をよく聞いてくれなかった」及び「あっせん委員の説明がわかりにくかった」等のマイナスの意見が数%あるが、これはどのように回答されてのものか。 ⇒ （事務局） あっせん手続利用者に対するアンケート調査の報告方法については、検討させていただきたい。 アンケートの回答方法としては、選択式と自由記述式がある。「あっせんの期間について」、「あっせん委員による事情聴取について」及び「あっせん委員による説明について」といった質問項目については、回答方法は選択式であり、ご自身が感じた回答に一番近いものを選択していただいている。選択式で回答していただき、さらに具体的なご意見を述べたい場合、自由記述式の解答欄にご記入いただいている。 ⇒ （委員） アンケートの自由記述については非常に重要であるため、今後も注目していただきたい。

3. システムインフラのセキュリティ強化について

システムインフラのセキュリティ強化について青木専務理事兼センター長から説明が行われ、了承された。

4. 今後の財務面における留意事項について

今後の財務面における留意事項について青木専務理事兼センター長から説明が行われ、大要以下のとおり意見交換が行われ、了承された（資料3）

【主な意見等】

- ・ システムインフラのセキュリティ強化に係る予算措置について、今後はどうのように対応していくのか。
⇒ 平成27年度については現在の予算措置で対応する。平成28年度以降においては5団体からの負担金で対応する予定である。
- ・ 財政面においては不確定要素が多く、資金管理が難しいのではないかと。以前、為替デリバティブに関するあっせん事案が多発したように、相場環境によって、当センターの財務面に大きな影響を及ぼす事象がいつ発生するか見通しが見えない。今後、同様の事象が発生した場合は、規則改正等で対応する必要があるのではないかと、意見として申し上げておきたい。

以 上